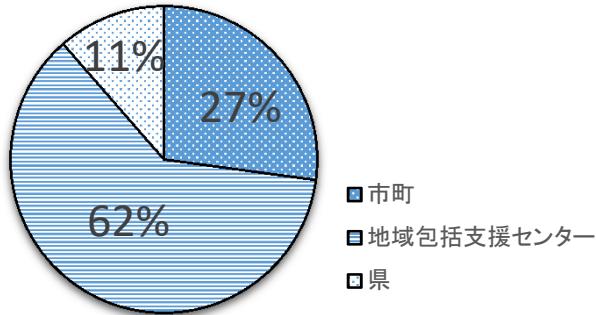
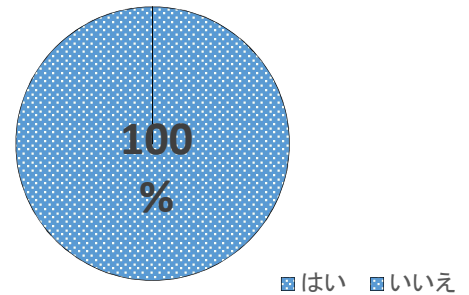


Q1 あなたの所属についてお答えください



Q2 今後の取組に生かせるヒントはありましたか



Q3 Q2の理由を記入してください

○資源開発へつながった取組

- ・地域ケア会議から実際の取組みに発展した事例が大変参考になった。
- ・事例提供の中で、自治会での地域ケア会議の開催で、地域課題の把握から、対応方法等について協議されていたことについては、とても参考になった。
- ・男性高齢者への支援について参考になった。
- ・連携のとりかた、仕組み作りの方法が理解できた。
- ・男性に特化した引きこもり予防など思いきった方法だと思う。担当地域でもサロン参加は男性が少ない為参考にしたいと思った。
- ・配食サービスでなく、「とりにきてもらい顔を合わせる」などの方法で新たなつながりが持てることが分かった。
- ・個別課題から地域課題へと広げていき他機関との連携を図り地域の強みを生かしながら取り組んでいきたいと思った。
- ・地域を動かすのは、包括単体では難しいが、地域の事業者とも協働して資源を作る。地域ケア会議のあり方を考えてみようと思った。
- ・男性の参加者を誘う視点や取り組み方
- ・地域資源開発の具体的な事例を知ることができたため・冊子の作成や、男性を外に出す取り組みなど、参考にしたい。
- ・男性が参加できるような場所があまりなくて困っていたため、参考になった。
- ・今は5～10年単位の問題(認知症、介護など)を具体化し、情報共有→問題解決方法→計画をみえる形で具体化する。問題意識を各団体、各個人もしっかり持たないと方法論でぶれる。
- ・男性に参加してもらうための視点、工夫の仕方・「じこうネット」の取組を聞いて、「活かせるしくみづくり」と感じた。地域包括、まだまだすべき課題はたくさんあると感じた。
- ・地域からあがった課題が共有され解決へつながったという素晴らしい取組を紹介してもらった。時間はかかるかもしれないが、話し合いを何度もされ、みんなが同じ方向を向いて取り組まれているいい例だと思う。
- ・男性の閉じこもりを、防ぐヒントをもらった。

○認知症サポーターの参加により住民互助活動が活性化した取組

- ・認知症サポーター養成講座をうまく活用したい。
- ・神石高原町は地域特性に共通点が多くあるため・認知症カフェの運営から地域との連携について参考になった。
- ・神石高原町でも、自ら進んで包括自身が取り組んでいると思い、当包括でも反省することが多い。
- ・サービスC卒業後のつなぎ先について他市町でも課題となっていることを知ることができた。

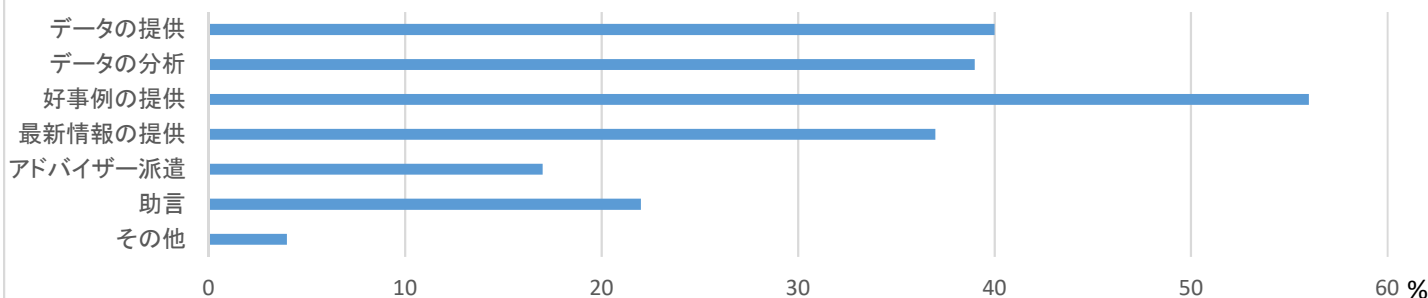
○多機関協働による総合相談支援体制の構築に向けて

- ・尾道市の「福祉まるごと相談窓口」の取組は大変参考になった。本市でも、各制度のはざまの問題、複合的な問題を抱えたケースの相談は増えている印象がある。特に、8050問題や高齢者のみ世帯の生活困窮、介護問題は、今後どんどん増えてくると思います。行政の中での横断的なつながりは重要だと思います。
- ・押し付け合いはしたくないと思いつつも、それぞれの所管に依頼するのが現状。参考にしたい。
- ・管内の尾道市の取組の内容を詳しく知ることができた。
- ・尾道市の取組が参考となった。
- ・当市では来年度より重層的支援体制整備に本格的に取りかかる準備を行っている。
- 情報交換会で好事例として紹介された尾道市の事例は、今後の事業整備にとっても参考になると考えた。
- ・尾道市の取組が、重層的支援体制整備の参考になった。
- ・尾道市の地域共生に向けて、既にワンストップの総合相談窓口を開設し稼働されている実践を聞き体制整備と支援者の支援する専門職のフォローアップが必要であることがヒシヒシと伝わってきた。
- 多重問題や複雑な事例が増えており、専門の相談窓口と繋がるのが重要だと思った。
- 住民からすれば、役場は役場なので中で繋がって混乱しないよう重層的な支援ができたらと思うが、まずは内部調整からだと思った。

○全体

- ・自分が所属している圏域の人口ピラミッドを作ること。つながりがやっぱり重要であること。
- ・我が町でも、本日の3市町の事例と重なる課題を抱えているので参考になった。
- ・日常業務に追われず、俯瞰した見方、多職種・多世代との連携の重要性、捉え方などを参考に、当センター事業を次年度以降に向け見直していくための参考になった。
- ・出来ないことばかり考えてしまいがちだったが、成功されている事例の考え方やエッセンスを取り入れて、少しずつでも進めていけたらと感じた。
- ・他市の事例を知ることが大事だと思った。
- ・地域の実態や課題に違いはあると思うが、考え方や発想、情熱を取り組み事例発表で、参考になることがたくさんあり学びになった。
- ・保険者機能強化推進交付金等評価指標について、全国及び県内の他市町と比較することで、当町の現状を知ることができた。
- ・事例が参考になった。
- ・行政、各関係機関との連携の具体例について把握することができ、そのままではなく、自分の地域ではどのように活用できるかについて、職場内や地域で協議していきたいと考えている。
- ・事例から、現場の支援者をフォローするために考え、工夫を行い、伴走しようとしてくれていると感じた。言っても仕方ないではなく、相談していこうと思った。また、地域課題を把握しても実行できなかったが、課題を整理し、どのように進めるか具体的な方法を知る事ができた。
- ・関係団体との連携の重要性について再認識できた。
- ・神石高原町や尾道市の先進的な取組について、知ることができ大変参考になった。
- ・好事例を具体的に説明してもらい参考になった。
- ・他市町の情報を聞くことができたから
- ・管内の市町の取組が平均より低いらしいことが判った。
- ・評価結果等報告の後、県内市町の取組について、取組の経緯を含めて紹介があったので、具体的でわかりやすかった。
- ・事例の内容は、自身の地域でも活かせる点もあり、今後の取組に活用していきたい。また、その裏付けとなるデータを示していたこともためになった。
- ・行政職員の熱い思いで、困りごと相談の解決にむけて本気でとりくんでいる姿が伺えた。支援者同士が繋がっていくことで、知恵や知識、情報が集まり国の補助金をうまくつかえている。
- ・事例報告を受け、自包括で取り組むヒントとなった。
- ・各市の課題分析から解決のための取り組みまでの過程を具体的に聞くことができた。
- ・今後の研修等の企画に活かせる。
- ・取り組みを聞いて、参考になった。
- ・地域包括ケアの各地域での取り組みの説明を受けることでイメージができ、自分の地域で検討していくときの参考になった。
- ・成功事例の担当者はどなたも熱意に溢れていて、何か新しく始めるときには、担当者の熱意と周囲との協力が必要不可欠であると改めて感じる事ができた。
- ・事例が良かった。
- ・好事例、最新情報等。
- ・各機関の立場が理解できた。
- ・保険者機能強化推進交付金の理解が深まった。
- ・強みを活かそうと思った。

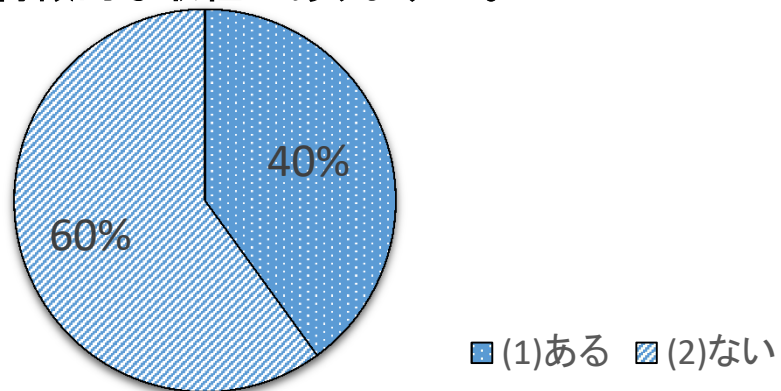
Q4 県・保健所・地域包括ケア推進センターへ希望する内容について



Q5 具体的な内容について記入してください。

- ・医療介護連携の好事例の提供
- ・今回のようにデータの提供と分析
- ・本日の研修もそうですが、コロナ禍においてオンライン環境の整備が行政でも地域でも求められている。それについて具体的な取組や補助があれば教えてほしい。
- ・重層的相談事業所の設置に関することについて助言して頂きたい。
- ・認知症サポーターステップアップからボランティア活動等へつながった好事例
- ・医療・介護連携や地域課題解決に向けた事例
- ・引きこもり支援、8050問題等の複合的課題を抱える世帯支援事例
- ・コロナによる地域住民の健康調査のデータなど
- ・地域ケア会議の運営には、課題を抱えているので、アドバイザー派遣という形があれば、いずれ検討してみたい。
- ・サロンや集いの場の立ち上げの好事例
- ・生活支援体制整備事業の地域団体と包括支援センターとの協働での好事例など
- ・複合化した課題を持つ狭間の世帯の相談対応するための会議体
- ・認知症初期集中支援チームの、精神の課題を持つ人・引きこもりの人のバージョンのシステム
- ・これからDXが進んでいく中で、DXを活用した好事例の提供
- ・事例提供では、スケジュールなどが知りたかった。(どことどの調整にどのくらいかかったか、何回ミーティングを重ねたかなど)
- ・地域の子どもから大人みんなが取り組んでいる支え合いの好事例
- ・提供というより共有できれば
- ・地域ケア会議の運営や事業を計画実行していくにあたって、大学教授や専門家等のスーパーバイザーの紹介をしてほしい。
- ・これまでの機関と連携を行っても解決に向かわない場合、もっと広い範囲の情報を持っているセンターに助言をいただきたいと思う事がある。
- ・好事例を学ぶことで振り返りや足りない所に気づけ、次のアイデアにつながる。
- ・広島市の場合、委託型の地域包括に対して、保険者からの地区診断の分析結果が詳しい内容がもらえないため改善してほしい。
- ・今回のように他市町を含めた会議や研修会を開催していただくと、大変参考になる。
- ・データ分析を活用した好事例について知りたい。
- ・見える化システムを活用しての分析ができていないため
- ・多く調査がされてる中で、県内市町の情報をお持ちだと思う。
- ・データを提供するだけでなく、説明会が必要。
- ・多機関協働の取組み
- ・他県例えば、東京や大阪など都市部の地域ならではの課題やその解決策などの情報や事例を知りたい。広島県内の情報は、地方の内容が多く、正直なところあまり参考にならない。
- ・山間地の高齢者の免許返納に伴い、病院受診や買い物など生活に直面した移手段など、工夫した点など移動支援について好事例があれば参考にしたい。
- ・尾道市の取り組みのような動きを広島市でも考えてほしい。
- ・地域ケア見えるかシステムを活用して地域の特徴把握について
- ・医療・介護・行政・民間の連携の好事例の提供 一緒に動いてくださるアドバイザー派遣
- ・研修会の情報提供。各自治体の取組の好事例を教えてください。
- ・今回のようなweb研修を定期的に行うことが重要と思った。自分たちの振り返りだったり、やる気につながると思う。
- ・多種職連携の好事例や地域包括ケアシステムにおける社会資源の開発・活用方法
- ・地域包括ケアに係る研修会の情報提供
- ・地域ケア会議を地域で立ち上げる際のアドバイザー派遣や助言など
- ・地域ケア会議の立ち上げに向けての好事例の情報提供や地域包括ケアに関する研修会等
- ・各市町の在宅医療・介護連携推進事業についての好事例等の提供。県に様々な事業の検討会等にアドバイザーとして参加していただけると、県と市との連携が深まるのではと考える。
- ・DX施策への補助
- ・医療・介護連携の好事例やACPの普及講演など
- ・人材不足を補う方法や、事業所努力で応募が増えた好事例などあれば紹介してもらいたい。
- ・最近、保証人や後継人がいない人が増えているが、具体的な対応など示唆頂きたい。
- ・さまざまな事例や、研修会の情報があればよいと思う。
- ・予防的視点での地域づくり
- ・研修会での事例検討、グループワーク等
- ・対象の設定のためのデータの分析や結果の評価にかかる助言をいただきたい。
- ・他県等の情報に疎く刺激を受けたいため
- ・好事例だけでなく、失敗事例も知りたい 原因等
- ・地域包括ケアにかかる最新情報

Q6 特徴的な取組はありますか。



Q7 具体的な内容について記入してください

○「ある」と回答した理由

- ・地域ケアマネジメント会議。
- ・総合事業の取り組み。
- ・本日発表のあった地域包括での取組、医療・介護連携における連携シートの作成等
- ・圏域内の介護支援専門員との協働で地域包括ケアを実施している(白島いきいきまつり、認知症カフェ等)
- ・困難事例はコアメンバー全員で検討、情報を共有し対応
- ・資源開発に繋がった取り組み
- ・地域包括支援センターの職員による75歳以上の高齢者世帯訪問
- ・デジタル化
- ・地域の全公民館を結んで、オンライン研修会を開催。各公民館を結ぶことで、居住地から近い場所へ参加できること、人が集まっても分散出来て密にならない。
- ・担当圏域すべての小学校(4校)・中学校(1校)で認知症サポーター養成講座を開催している。
- ・特に思いつくような特徴的な取り組みが思い浮かばない。日々の業務に精一杯で包括業務まで出来ていないと感じている。
- ・これから地域で見守り相談支援の仕組みを地域と作っていくところ
- ・地域ケア会議を通じた地域住民の福祉ニーズ把握と解決方法の検討
- ・日常生活圏域単位での区域協議体の開催
- ・自立支援型地域ケア個別会議
- ・高齢者の見守りについて、地域では昔から自然な見守りが行われているところもある。高齢化の進む団地では、定期的な会議を行い、緩やかな見守り活動が行われている。
- ・ACPノートの作成、ボランティアによる在宅医療に関する研修会・交流会の開催、高齢者の移動支援及び買い物支援
- ・高齢者の見守りや移動支援等、市町情報交換会資料に記載いただいた取組
- ・市主催の自立支援型地域ケア会議の実施、生活支援サービス登録など
- ・町内会単位でのアンケート調査や新型コロナウイルスによる緊急事態宣言後の、100歳体操参加者へのアンケート等
- ・ACP活動を積極的に取り組んでいる。
- ・買い物支援バス
- ・移動販売等の充実
- ・多機関協働による総合相談支援体制 高齢者の移動支援
- ・地域ケア会議
- ・認知症医療疾患センターと包括を併せ持ち、認知症の方へのケアに力を入れている。実際には医療と介護のワンストップを行っている。今後、カフェの取組、サポーター養成講座など次へつながるものになるよう努力している。
- ・ごみ捨てが難しい高齢者への代行支援。地域資源手帳の作成。
- ・多職種連携による取り組みが積極的に行われている。
- ・自立支援型地域ケア会議を包括の圏域ごとに定期的開催
- ・高齢者の移動支援:町内どこまで乗っても900円で(20回/月まで)利用できる。
- ・見守り:「見守りガイド・くらしのお助け帳」作成
- ・自立支援型地域ケア会議の開催
- ・支え合い等
- ・包括との協働体制での自立支援型地域ケア会議の開催
- ・医療介護連携でメーリングリストを作った。
- ・自立支援型地域ケア会議

○「ない」と回答した理由

- ・特徴的な取り組みと言えるほどの物はない。
- ・特に思いつくような特徴的な取り組みが思い浮かばない。日々の業務に精一杯で包括業務まで出来ていないと感じている。